

しいば 議会だより

第91号
平成30年7月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL (0982) 67-3209
村内無料電話7-67-0091

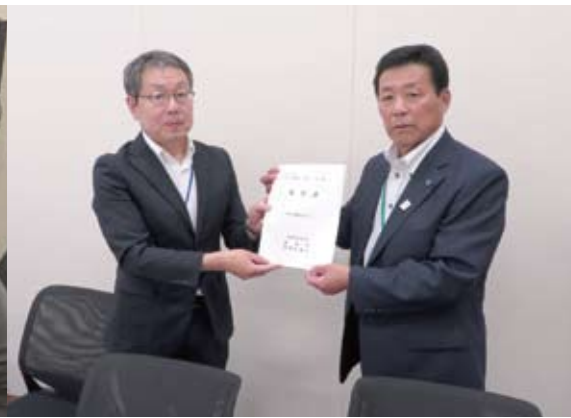
林野庁への要望



農林水産省への要望



国土交通省への要望



1 回臨時会 ……………(2)
6 月定例会 ……………(3)
一般質問 ……………(4～5)

委員会活動報告 ……………(5～7)
議会の動き ……………(8)

平成30年第1回臨時会

平成30年4月25日に第1回臨時会が開催され、平成29年度補正予算など10件の専決処分が承認されました。

第1回臨時会で決まったこと

議案番号	議案名	審査結果
承認第1号	平成29年度椎葉村一般会計補正予算(第9号)	承認(全員一致)
承認第2号	平成29年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	承認(全員一致)
承認第3号	平成29年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	承認(全員一致)
承認第4号	平成29年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第5号)	承認(全員一致)
承認第5号	平成29年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第5号)	承認(全員一致)
承認第6号	平成29年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第5号)	承認(全員一致)
承認第7号	平成29年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)	承認(全員一致)
承認第8号	平成29年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第5号)	承認(全員一致)
承認第9号	椎葉村税条例の一部を改正する条例	承認(全員一致)
承認第10号	椎葉村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認(全員一致)

会計別の予算状況

会計名	補正額(千円)	補正後の予算額(千円)
一般会計	△45,711	5,093,355
国民健康保険特別会計	6,593	497,463
簡易水道事業特別会計	109	89,373
国民健康保険病院事業特別会計	△8,670	513,314
電気事業特別会計	50	129,164
介護保険事業特別会計	△11,716	402,869
後期高齢者医療特別会計	△1,147	83,129
ケーブルネットワーク事業特別会計	△4,104	61,517

平成30年6月定例会

6月8日に6月定例会が開催され、平成30年度の一般会計及び特別会計の補正予算を含む9件の議案が提出され、いずれも原案どおり可決されました。一般質問には2名が登壇しました。

6月定例会で決まったこと

議案番号	議案名	審査結果
報告第2号	平成29年度一般会計繰越明許費の報告	(報告)
議案第42号	平成30年度椎葉村一般会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
議案第43号	平成30年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
議案第44号	平成30年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
議案第45号	平成30年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
議案第46号	平成30年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
議案第47号	平成30年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
議案第48号	平成30年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
議案第49号	平成30年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
議案第50号	集会センター設置条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)

平成30年度 補正予算の内容

会計名	補正額(千円)	補正後の予算額(千円)
一般会計	18,530	5,128,530
国民健康保険特別会計	7,439	382,021
簡易水道事業特別会計	765	281,274
国民健康保険病院事業特別会計	0	516,813
電気事業特別会計	1,445	136,450
介護保険事業特別会計	7,603	421,104
後期高齢者医療特別会計	49	88,511
ケーブルネットワーク事業特別会計	684	67,325

村長に聞く! ~ 一般質問 ~



那須 清 議員

質
問

**小規模木質バイオマス
発電事業への取組に
ついて**

問1

地球規模での温暖化防止、原子力発電の事故影響、中東諸国においての原油価格の不安定から近年、水力・風力・太陽光・木質バイオマス等の自然エネルギー供給再生が注視されている。

そうした現実と林業立村を目指す村の立地・環境条件・林地残材等豊富な資源を活用した木質バイオマス発電所を建設運営することを取り組んだらどうか。

地域密着型の施設運営は、売電による収入はもちろん、雇用の拡大、地域の活性化、森林所有・作業者の所得向上につながり、本村の基幹産業である林業振興が図られる。企業の誘致も含め、林政審議会等

で研修・研究の場を創ったらどうか村長の見解を。

答1

現在県内には、稼働中の木質バイオマス発電所が10施設ある。燃料となる原料については、数字上は調達可能と判断されている。本村では、平成26年度に協議会を設立し研修会の開催や県補助金による輸送支援を図ってきている。その結果、28年度が710.8トン、29年度が、1422トンに至っている。本村においても、国内のエネルギー政策に注視しつつ、可能性について検証を図っていく。



河口吉弘 議員

質
問

**低い年金で暮らす
高齢者世帯の生活支援
について**

問1

椎葉村における生活保護の年額基準額は、70歳一人暮らしで約70万円、70歳夫婦世帯で約120万円。本村の65歳以上一人暮らし世帯は228世帯、65歳以上高齢者だけの世帯は188世帯、387人となっている。あわせると416世帯、615人となっており、50万円以下の年金受給者や低収入の高齢者が多く存在し、厳しい生活を余儀なくされている。

平成25年9月定例会において、低年金の高齢者世帯の生活実態を把握し、支援策の検討を行うべきとの質問に対し、村長は「生活保護基準以下の年金受給者もいるが、節約しながら懸命に暮らしている。仕送りや蓄えもあり直接支援は問題がある。調査はプライバシーの侵害もあるが、困っている人を救うのが行政の責任、民生委員と相談しながら論議、調査したい」と答弁。これまでどのような調査や協議、検討が行われてきたかを尋ねる。

平成25年9月定例会において、低年金の高齢者世帯の生活実態を把握し、支援策の検討を行うべきとの質問に対し、村長は「生活保護基準以下の年金受給者もいるが、節約しながら懸命に暮らしている。仕送りや蓄えもあり直接支援は問題がある。調査はプライバシーの侵害もあるが、困っている人を救うのが行政の責任、民生委員と相談しながら論議、調査したい」と答弁。これまでどのような調査や協議、検討が行われてきたかを尋ねる。

答1

生活に困窮している高齢者については、国民年金保険料を納めていなかったなど、様々な理由があると考え。全国的な問題であり、国においては生活困窮者の支援制度が開始された。この制度とは別に、低所得者への直接支援策である臨時福祉給付金や低所得者の高齢者に対し、年金生活者等支援臨時福祉給付金が支給された。あわせて民生委員や社会福祉協議会などと一緒に、高齢者の見守り活動や心配事等に対する相談を行っている。

今後も高齢者への福祉施設を継続しながら、必要に応じ充実を図るなど支援をしていきたい。

問2

生活保護制度は高齢や病気などで収入がなくなり、最低限度の生活を保障する最後のセーフティネット。今年2月5日の衆議院予算委員会において、総理は「生活保護制度は最低限度の生活を保障する最後のセーフティネット、本人からの申請を待つばかりでなく、住民に対する制度の周知や民生委員と連携し、生活に困窮している人の発見に努め、生活保護への偏見をなくし、保護を必要とする人には、確実に保護を適用するという制度の適正な運用に取り組んでいく」と答弁している。本村においても制度に対する正しい理解と周知に取り組んでいただきたい。

答2 第7期介護保険事業計画のために介護予防日常生活圏域ニーズ調査ということでアンケート調査を行っている。その中で、「大変苦しい」という方が、5.5%、「やや苦しい」という方が、17.1%という結果であった。このことに関し、公民館の役員、民生委員による日頃の見守り、介護相談員や聴きミミ隊による訪問活動を充実させ相談や情報収集体制がとられている。

問3 介護保険事業計画の策定に当たって実施アンケート調査によると、回答があった850人の高齢者のうち、5.5%の方が「生活が大変苦しい」、17%の方が「やや苦しい」と答えている。

このことは本人の責任というだけでは片付けられない問題、重ねて生活保護制度についての正しい理解と周知に取り組むべきだと考えるが。

答3 村民それぞれの生活状況を調査把握することは厳しい状況にある。

民生委員や聴きミミ隊、介護保険相談員の方々に調査、訪問をしていただいていることから、その部分を充実しながら体制づくりをしていく。



委員会活動報告

上椎葉湯前線整備促進協議会総会(5月9日)

報告者：椎葉芳一（産業福祉常任委員長）

本総会が、日向土木事務所長をはじめ土木事務所関係者、沿線の公民館役員その他多くの関係者の出席のもと、開発センターで開催された。

本年度も県土整備部や県議会等に引き続き要望を行っていくことを決した。



国への要望活動(6月12日)

報告者：椎葉信紘（産業常任副委員長）

国土交通省、農林水産省、林野庁に対して要望書を提出し、意見交換会を実施した。

・国土交通省

- ①国道3路線(R265号、R327号、R388号)の早期完成と改良整備促進
- ②道路整備に必要な予算の確保

・農林水産省及び林野庁

- ①有害捕獲従事者の育成、確保を図る捕獲体制の充実
- ②村が行う被害防止に対する財政支援
- ③各地域が連携した広域的な被害防止に対する支援
- ④森林整備事業の財政措置の継続
- ⑤流域(川上、川下地域)一体の林業再生に向けた取組の推進
- ⑥作業道災害復旧事業の予算措置



委員会活動報告

平寿園跡地活用調査特別委員会所管事務調査(5月14日)

報告者：那須重美（総務文教常任委員長）

本委員会において、旧平寿園跡地に建設予定の建物に伴う調査として、福岡県福智町の図書館・歴史資料館「ふくちのち」の調査を実施した。

整備にあたっては、2年間におよぶプロポーザル方式により全国から公募によって選定し、「立ち寄りたくなるみんなの広場」として建設されていた。目的として、小・中学校の児童生徒の学力向上、九州大学と連携し図書を利用した学習支援も展開していた。旧庁舎跡ということもあって規模の大きい建物であった。

来館者としては、平日で300～400名、週末は600～700名訪れており、主に親子連れや高齢者とのことであった。年間のイベントも多彩で、毎月2～3回のイベントを開催している。こういったイベントが単発で終わらせることなく、地域住民、各団体が集まり、町に新たな文化を創造できるような施設づくりに心がけているとのことであった。

本村においては、施設まで遠いという地理的条件もあって、地域の皆さんが容易に利用することは厳しいと考えられるが、多機能施設の整備によって共通の目的としては、住民が共に広く活用できる、また子供達の学力向上、高齢者の憩いの場としての施設整備を目指すべきと考える。

イベント等においても工夫を凝らした、行きたくなるような内容の開催など新たな取り組みを展開することを期待したい。

「ふくちのち」は、図書館として知りたい情報はすべて図書としてそろえ、あらゆる分野の書籍52,000冊保有していた。不足する書籍については、早急に揃えるなど「ふくちのち」に行けば、すべてそろっているという感じであった。

同時に建設予定にある図書館についても、検討を重ね期待したいものである。



椎葉矢部砥用線整備促進期成同盟会総会(5月18日)



報告者：椎葉芳一（産業福祉常任委員長）

本期成会総会が、椎葉村開発センターで開催された。

平成30年度事業計画で、熊本森林管理署、宮崎北部森林管理署に要望を行っているとの報告を受けた。

熊本地震や集中豪雨による被害は甚大なものがあり、被害箇所が多いためまだまだ全線復旧に至っていないということである、

議会改革特別委員会特定事務調査(6月18日)

報告者：岡村正司（副議長）

本委員会は、高千穂町議会定例を議員全員出席し傍聴した。これまで、議会改革特別委員会で取り上げて協議を行っている一般質問の「一問一答方式」のあり方について、「一問一答方式」で一般質問が行われている町議会を傍聴しその模様を伺い、今後検討するということでの視察活動であった。質問内容、時間、再質問の回数などを踏まえ、質問者においてはスキルアップ等が必要など、今後検討課題であると感じた。



産業福祉常任委員会合同政務調査(6月14日)

報告者：椎葉藤香(総務文教常任副委員長)

本村の将来を見据えた自然風土にあった産業として、現在薬草栽培に取り組んでいる福島県平田村の薬草園での視察研修を行った。

平田村では、薬草の「甘草」を主に試験栽培に行政と大学が取り組んでいた。栽培にあたっては、農薬が使えない、製薬会社との契約販売で利益を出すことの難しさ、資金の調達等で苦労したとのことであった。奥羽大学薬学部 伊藤准教授との意見交換があったが、椎葉村には、その土地に適したものがあると思うので、探して研究した方がよいとのことであった。平田村は、平地であり、日照時間も長いということで甘草栽培に取り組みができているようだ。



甘草のハウス栽培



平田村長あいさつ



奥羽大学伊藤准教授の説明



ジュビアランド「世界のあじさい園」



甘草の露地栽培



甘草の苗



現地視察を終えて意見交換

延岡市駅「エンクロス」調査(6月18日)

報告者：岡村正司(副議長)

高千穂町議会の傍聴を終え、午後から延岡市駅に新設された複合施設(エンクロス)を視察した。この視察においては、旧平寿園跡地利用活用にあたり、村が複合施設を視野に検討していることから福岡県福智町図書館、歴史資料館「ふくちのち」視察に引き続きの視察研修となった。当施設は、1階の待合スペース、コーヒーショップ、地域特産品や絵本等があるキッズスペース、2階は待合ラウンジ、書店が入り雑誌から文具雑貨の販売、また閲覧図書ができ、市民活動やイベントも開催できる施設となっており平日にも関わらず多くの方が利用されていた。



第63回宮崎県乾しいたけ品評会(6月21日)

報告者：椎葉芳一(産業福祉常任委員長)

県乾しいたけ生産者大会が宮崎市で開催された。本村も個人の部では、林野庁長官賞や優等賞、功労賞などの特別表彰を多くの生産者が受賞された。また、団体の部は準優勝となり、5連覇を果たすことができなかった。

また研修会では、県山村・木材振興課の木上氏より「ひなたGAP」への取組について講演が行われた。



議会の動き

5 月	1日	日向市新庁舎「開庁式」	日向市
	3日	第8回椎葉神楽まつり	開発センター
		区長・区長代理・組合長研修会	開発センター
	9日	県道上椎葉・湯前線整備促進協議会定期総会	開発センター
		入郷地域開発期成同盟会議長・事務局長会	日向市
	11日	日向・東白杵郡町村議会議長連絡会総会	日向市
		東白杵郡議長会定期総会	日向市
	14日	平寿園跡地活用調査検討特別委員会政務調査	福岡県福智町
	17日	村商工会総会	商工会館
	18日	椎葉矢部砥用線整備促進期成同盟会理事会・総会	開発センター
		郡監査委員協議会定期総会	日向市
	19~20日	第2回近畿しいば応援団	大阪市
	21日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会理事会・総会	
		第2回観光協会理事会	役場会議室
	23日	九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会熊本・宮崎合同理事会	御船町
	24日	入郷地域開発期成同盟会役員会	諸塚村
	23~24日	例月監査	監査室
	25日	村国民健康保険運営協議会	役場会議室
	27日	仲塔溪谷の館落成祝賀会	仲塔地区体育館
28~29日	全国町村議会議長・副議長研修会	東京都	
29日	耳川広域森林組合第18回通常総代会	日向市	
6 月	2日	県民総合スポーツ祭総合開会式	宮崎市
	4日	議会運営委員会	委員会室
	5日	一ツ瀬川水系濁水対策評価検討委員会	宮崎市
	10日	村女性スポーツ祭	村体育館
	11日	平家まつり実行委員会	役場会議室
	12~15日	国への要望活動及び政務調査	東京都・福島県平田村
		議会改革特別委員会政務調査他	高千穂町・延岡市
	18日	村奨学資金貸付選考委員会	役場会議室
	20日	地域づくり懇談会(尾八重・小崎)	尾八重体育館・小崎集会センター
	21日	県乾椎茸生産者大会	宮崎市
	23日	村消防操法大会	椎葉小グラウンド
	25日	地域づくり懇談会(松尾・上椎葉)	松尾大いちょうふれあいセンター・開発センター
	26日	地域づくり懇談会(仲塔・鹿野遊)	仲塔地区体育館・鹿野遊ふれあいセンター
	日向東白杵広域連合運営委員会	日向市	
28日	地域づくり懇談会(尾向・不土野)	尾向小体育館・不土野体育館	
29日	地域づくり懇談会(梅尾・大河内)	梅尾の館・大河内生活改善センター	

7 月	1日	椎葉五家荘線県道昇格促進期成会総会	八代市泉町
	2日	入郷地域開発期成同盟会第58回定期総会及び研修会	役場会議室
	3日	日向東白杵広域連合7月議会	日向市
	9日	入郷地域開発期成同盟会各県出先機関への要望活動	延岡市・日向市・西都市
	10日	国道388号整備促進期成同盟会現地調査及び総会	美郷町・椎葉村
	11日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会	高千穂町
		第7回議会改革特別委員会	役場会議室
	12日	交通安全父母の会キャラバン隊伝達式	役場
	18日	宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会総会・研修会	宮崎市
	23~24日	郡定例議事会、事務局長会	大分県玖珠町・杵築市
24日	議会運営正・副委員長研修会	宮崎市	

椎葉村議会 テレビ生中継

お茶の間で議会の様子をご覧いただけます。放送は11チャンネルです。9月定例会は、9月5日開会の予定です。

編集後記

梅雨に入り、毎日雨続きで農作業に支障をきたしているかと思えば、天気になれば、夏本番といった暑さで、体調管理がついていきません。

議会としても、今課題となっています地域医療の現状、旧平寿園跡地の利活用など、山積する課題に対し特別委員会を設置し、視察、調査活動を展開しています。地域づくり懇談会にも全地区参加し、村民の皆様の意見に真摯に耳を傾け、村政に反映していきたいと思っております。

今後も議会だよりを通して、議会情報を的確に伝えていきますのでご期待ください。

文責 椎葉大和

